令和７年６月吉日

各　位

中部横断道路建設促進協議会
（姶良市商工会内）

中部横断道路建設促進決起大会開催のお知らせ

標記の件について，永年当地域の課題であります，国道１０号の渋滞緩和に向けて，姶良市商工会が中心となり，「中部横断道路建設促進協議会」を立ち上げ，慢性化している地域内の渋滞緩和に向けて活動を行っていくこととなりました。

そこで，その活動の一環として，下記要領にて「中部横断道路建設促進決起大会」を行う事となりましたのでお知らせいたします。多くの皆様のご賛同を得られるように活動を行って参りたいと考えておりますので，皆様のご理解とご協力を賜り，多くの皆様にご参加いただきますよろしくお願いします。

記

１．開　催　日　時：令和７年６月１５日（日）
午後２時～

２．開　催　場　所：姶良市文化会館（加音ホール・大ホール）

※駐車場に限りがありますので，出来るだけ乗り合わせてのご来場をお願いします。

※当日，入り口にて金属探知機による検査及び手荷物検査を実施しますのでご協力をお願いします。

中部横断道路建設促進協議会設立趣旨
～姶良市内の交通渋滞解消に向けて～

本市にはJR日豊本線，国道10号，九州縦貫自動車道，東九州自動車道に接続する集人道路，またこれらの高規格道路には姶良インターチェンジ，加治木インターチェンジ及び加治木ジャンクションがあり，近年桜島サービスエリアに新たにスマートインターチェンジが整備されています。

また，主要地方道川内加治木線，同栗野加治木線，同伊集院蒲生溝辺線，同集人加治木線をはじめとする主要な幹線道路も整備されてきました。

さらに，隣接する霧島市には鹿児島空港もあり，姶良市は昔から交通の要衝地として栄えてきました。

これらのインフラ整備とモータリゼーションの発達により，市内の交通量はコロナ禍により一時的に減少したものの，従前の状態に回復しつつあります。

特に，姶良市内みろく交差点においては全国的に交通量が減少した中で，コロナ禍においても交通量の減少は見られず，従前に比べ増加が見られています。

これは，九州縦貫自動車道や東九州自動車道から薩摩川内市へ通過する車両の増加によるものと想像されます。加えて，近年霧島市において新設工場の稼働開始により，通勤者が増えており，交通量は益々増える一方です。

鹿児島市から霧島市への国道10号の4車線化一部供用が開始されているものの，鹿児島市から姶良市内の整備状況は一部区間が着工・共用が開始されてはおりますが，依然としてその整備は進んでおらず，構想されてから50年が経過してもなお，未だに完成していないのが現状であります。

これは本市をはじめ鹿児島県内の産業・交通・物流に大きな損失を与え，さらには救急医療の分野においても市民に不利益となっています。

また，薩摩川内市にある川内原子力発電所で想定される原子力災害の避難住民は姶良市へもその避難ルートが計画され，その後，鹿児島市や霧島市へ避難する計画となっており，市内での交通渋滞は避難する方々のみならず姶良市民に大きな脅威であると考えるのは容易なことであります。

災害時ばかりではなく，鹿児島県内有数の文化財を誇る本市にとって，観光業やイオンタウン姶良での滞留型の商業振興への転換を図る重要な整備であり，これまでの単なる通過点となっている本市の産業振興には重要なキーポイントとなってきます。

また，国道10号を含む沿線には多くの学校も存在し，児童・生徒の安全確保にも十分な配慮が必要と考えております。

このようなことから，本市にとって，市民生活の向上と安全，豪雨や台風等の災害に備え，九州縦貫自動車道や国道10号の補完機能を有する新たな道路整備を進める必要があり，ここに中部横断道路建設を強く要望するものであります。